



夏の風物詩！上手に割れたかな？

こゆりこども園でスイカ割り

夏のこゆりこども園では、この時期ならではの遊びである「スイカ割り」や「プール遊び」などで、夏を満喫しています。

8月2日にひまわり組（年長）の園児たちが行った「スイカ割り」では、目隠しをした園児が他の園児や先生に応援されながら、スイカに向かって勢よく棒を振り下ろしていました。最終的にスイカにはヒビが入り、大盛り上がりでスイカ割りを終えました。

同じ日に他の組では、プールや水鉄砲などで水遊びを行いました。プールにぷかぷかと体を浮かせたり、お互いに水を掛け合ったりと、夏の暑さにも負けずに元気いっぱいに遊んでいました。



大学生が町の子どもたちと一緒に化学実験 福島大学サイエンスカフェ

福島大学食農学類の学生が中心となり、県内の子どもたちに化学の楽しさを伝える「サイエンスカフェ」が、8月8日と9日に行われました。

夏休み期間中の今回は、放課後児童クラブの子どもたちが参加し、植物から色を取り出す実験や、それを使ったせっけん作りに挑戦しました。子どもたちは講師の先生や大学生に教わりながら、化学反応の様子に夢中になっていました。



（写真提供：西会津高校）

中学生が高校の授業と部活動を体験

西会津高校で体験入学を開催

7月29日、西会津高校で体験入学会が行われ、町内外から25人の中学生が参加しました。

全体会では、生徒会長の今井さんと2年生の小柴さんが西高の良さや魅力について楽しく話してくれました。数学の授業体験と部活動体験では、会場に入ることができなかった引率者のために、町から貸与されているタブレット端末を活用し、別教室で中学生の様子をリモートで参観してもらいました。



埼玉県戸田市の中学生とも交流

中高生が異国文化を体験

国際社会に対応するコミュニケーション能力と豊かな人間性を育むための英語教育・異国文化体験事業が天栄村の英語研修施設「ブリティッシュヒルズ」で行われ、町内内在住の中高生22人が参加しました。令和元年度より始まった本事業は、8月4日から1泊2日の日程で行われました。

今回は、埼玉県戸田市の中学生16人も参加し、交流を兼ねて体験事業を実施しました。異国の雰囲気漂う施設内では、施設の見学やレッスンなどで全て英語を使用して過ごすようになっています。参加した生徒の皆さんは、グループごとに英語の読み書きなどを学ぶレッスンやカナダの先住民に伝わる装飾品を手作りするレッスンなどを通して、楽しみながら英語や異国文化を学び、貴重な経験になりました。

会津出身の文化人が残した民俗資料を多く展示

古川利意記念美術館「農とくらし」がオープン！

奥川・真ヶ沢にある築150年の蔵を改修し、会津坂下町出身で教員や郷土史家として活躍した故古川利意さんの作品約400点を収蔵した小さな美術館「農とくらし」が7月18日に開館しました。

当日は、美術館の立ち上げに携わった関係者や地元住民など多くの皆さんが駆け付け、開館を祝うセレモニーが行われました。古川さんと生前から親交があり、今回の発起人で蔵の所有者の小野木麗子さんは「色々な人の力を借りて開館できた。古川さんの作品を多くの皆さんに見てほしい」と話していました。

◆古川利意記念美術館「農とくらし」開館情報

【日時】土日祝日 午前10時～午後5時

【場所】奥川大字飯里字里道2246番地

【観覧料金】無料（管理運営にかかる協力金あり）

※豪雪地帯のため冬期間は閉館します。

〈問い合わせ先〉

☎080-6019-0384（小野木）

